

早稲田大学日本語教育学会 2012 年秋季大会プログラム

開催日時 2012 年 9 月 23 日 (日) 12:50~17:25

【会場】早稲田大学早稲田キャンパス 22 号館 201・202・203 教室

【時間】受付 12:20~ (22 号館 2 階エレベータホール)
 開会 12:50~ (201 教室)
 ポスター発表 13:00~14:00 (202 教室)
 口頭発表 14:10~15:15 (201・203 教室)
 企画 15:25~17:25 (201 教室)

【ポスター発表】13:00~14:00

| 時間 | 会場：202 教室 |
|---------------------|--|
| 13:00 ~ 14:00 | (1) ベテラン日本語教師はなぜ自分の授業を「つまらない」と語ったのか —実践知のナラティブとしての側面と暗黙知とのズレに注目して— 奥山 寛(修士課程) |
| | (2) 日本語学習者の発音における自己モニターの新しい捉え方 —「行動」を中心に考える— 趙 靨(修士課程) |
| | (3) 自律的日本語学習を支援する大学院生スタッフの役割とは —「わせだ日本語サポート」におけるスタッフの認識の変化から— 上原 龍彦・大塚 理樹・奥山 寛・小針 奈津美・沈 紋紋(修士課程) |
| | (4) 重ねた「対話」がもたらす言語教育観の更新 —「つながりをつくる」ことを目指した 「にほんご わせだの森」の実践のプロセスから— 松本 裕典・角浜 ひとみ・マルケス ペドロ・高須 こずえ・田中 奈緒(修士課程) |

【口頭発表】14:10~15:15

| 時間 | 会場：201 教室 | 会場：203 教室 |
|---------------------|--|---|
| 14:10 ~ 14:40 | 授業勉強会における教師の学びと「同僚性」—振り返りレポートに焦点をあてて 梅津聖子・江原美恵子・古賀和恵・山本実佳・牛窪隆太 (日本語教育研究センター) | 韓国の大学における日本語学習者の発音および発音指導に対するピリーフ 李 玗兒(修士課程) |
| 14:45 ~ 15:15 | 協働によって高められる音声表現力 古賀 裕基(博士後期課程) | 促音の知覚と生成における意識 —広東語母語話者の語りから— 張 婉明(博士後期課程) |

【企画】15:25~17:25

| 時間 | 会場：201 教室 |
|---------------------|--|
| 15:25 ~ 17:25 | 鼎談「日本語教育学のこれまでとこれから—早稲田の日本語教育を基点として—」 吉岡 英幸・細川 英雄・蒲谷 宏(早稲田大学日本語教育研究科) 企画者：古屋 憲章(日本語教育研究センター) |

【総会】17:30~17:40 (201 教室)

【懇親会】18:00~19:00 (22 号館 8 階会議室)